

事業概要	清涼飲料水製造 宅配事業 ウォーターサーバー事業
部署	・経営戦略室 ・営業企画部 ・品質管理部
所在地	〒108-0075 東京都港区港南1-6-31 品川東急ビル4階
連絡先	<a href="https://www.aquaclara.co.jp/contact/">https://www.aquaclara.co.jp/contact/</a> 経営戦略室 宛
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	「水」を通してみなさまの“生活”環境”健康に関わるアクアクララは、いつまでも笑顔でいられる豊かなくらしを、現在だけでなく、未来まで届けたいと考えております。リサイクル(再資源化する)、リデュース(ゴミを減らす)、リユース(繰り返し使う)の3Rが当たり前の社会を皆様と育んでいきたいと思っております。

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション

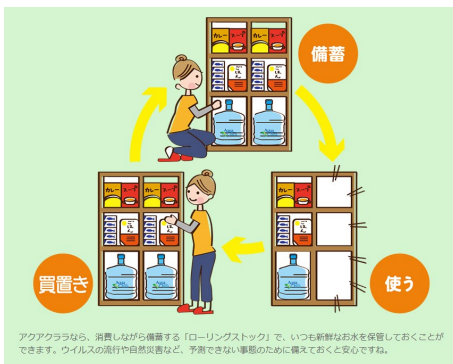
分野 脱炭素／防災

■環境保護・教育

地域貢献事業として、地域の幼稚園や小学校と連携し水分補給とゴミ問題についての教育イベントを実施しております。この活動を通じて、未来を担う子供たちに正しい地域を身に付けてもらいたいと考えております。また、今後はイベント内容をパッケージ化して地域企業へご提供していくなどして活動を広げていきたいと考えております。

■地域防災・持続社会貢献

安全で住みよい生活の実現のため、地域防災に関して取組を行っております。地方自治体と防災協定を進めており、今後も継続して締結地域を増やしていきたいと思っております。また、消費しながら備蓄する「ローリングストック」を推進し、個人に対して防災備蓄を呼びかける活動も行っており、今後は防災イベントへの参画や企画を行います。



幼稚園での水分補給イベント



地域の皆様へお水の大切さを知ってもらいたい。この思いから、アクアクララのオリジナルキャラクター“チャプリン”と幼稚園へ訪問し、水分補給の大切さを学ぶイベントを実施しています。イベント内では紙芝居やレクリエーションを行い、園児のみなさんに楽しみながら水分補給の大切さを知ってもらいます。また、親子で楽しめる水分補給ガイドブックを配布し、見学いただいた保護者の方からも、ご家庭でもお水や環境に対してお話しするよい機会になったとお声がけをいただきました。



各自治体との防災協定



アクアクララグループは北海道から沖縄まで全国各地にお水の製造工場があり、万一災害により地域の加盟店が製造・配達ができない場合でも、近隣の加盟店同士がカバーしお水をお届けします。これが、アクアクララが皆様へ提供させていただき、あんしん、あんげんです。また、アクアクララ株式会社が保有する製造工場のある埼玉県熊谷市、大阪府吹田市、福岡県中間市はもちろん、浦安市、大阪市他、多くの地方自治体と「災害時における飲料水供給の協定」を結んでいます。災害時に各地方自治体とともに円滑な対応を行い、貢献することが私たちの使命です。



URL <https://www.aquaclara.co.jp/corporate/business/sdgs.html>

上記ソリューションを提供できる地域について

全国

## 自者の特徴

- ・全国80を超える地場企業とのフランチャイズ制度による地元貢献。
- ・全国に水製造プラントを保有することで、防災にも強い体制を構築。
- ・リターナブルボトルの採用で、お客様と一緒にリサイクル活動。
- ・全国の自治体と防災協定を締結。

水に関わる事業を通して、SDGs活動を推進し、環境保護に取り組んでいます。

### <主だった活動内容>

#### 1、ウォーターボトル・ボトルキャップ及びウォーターサーバーのリサイクル

##### ウォーターボトル・ボトルキャップ

##### 及びウォーターサーバーのリサイクル



ごみを少しでも削減し、私たち自身のあんしんな生活を守るため、アクアクラでは当初からお客様宅より回収した空ボトルを洗浄して繰り返し利用できるリターナブルボトルを採用しています。

また、使い終わったウォーターボトル・ボトルキャップを単に廃棄物とするのではなく、適切なリサイクル事業者へ委託し再資源化することをブランド目標の一つとして掲げ取り組んでいます。

現在、アクアクラ直営店におけるウォーターボトルは100%のリサイクルを行っており、ボトルキャップは、2021年6月に100%のリサイクル率を達成致しました。また一定期間ご利用いただいたウォーターサーバーにつきましても、部品を分解し、100%のリサイクル実現を達成致しました。

アクアクラではこれからもリサイクル化を使命として継続していきます。



#### 2、地域・個々人へのリターナブルボトルご利用推進による環境保護宣伝活動

**Let's Sustainability Challenge**

比べてみよう！  
リターナブルボトルで  
変えられる未来

**Case01**  
比べてみよう！  
「ものを大切にするリユース編」  
地球2周分！  
217,000個のリサイクル  
約2.8tのCO2削減！

**Case02**  
比べてみよう！  
「ごみを少なくするリデュース編」  
約13,000gのCO2削減！  
1,300個のボトル、200個のキャップ、15,000個のキャップをリサイクル

**Case03**  
比べてみよう！  
「資源を大切にするリサイクル編」  
100%リサイクル率を達成！

**アクアクラの魅力**

- Point1: リターナブルボトルを積極的に採用し、ごみを減らすことに貢献しています。
- Point2: 全国に水製造プラントを保有することで、防災にも強い体制を構築しています。
- Point3: すべてのお客様に優しい価格設定を実現しています。

SDGs経営に向けた自  
者の課題や悩み

・自治体・他企業様との提携がまだまだ不足していることが悩みです。  
これから更に積極的にローカルSDGsを視点とした取組ができるよう、呼びかけて参ります。

## 災害時にも水を 供給し続けられる仕組みとは

---

2011年に東日本大震災、2016年には熊本地震と大規模地震が続いたことで、日本人の防災への意識が高まっています。

災害が起きたとき必要になるのが水の確保です。

アクアクララでは以下のような体制をとっているため、災害時にも速やかな対応が可能です。

### 宅配業者ではなく、自社で宅配

---



大規模な災害が起こると、宅配業者は配送に制限がかかり、配送中止や遅延が発生する可能性が高く、実際の災害時にもそのようなケースが見受けられました。ウォーターサーバーを供給する会社は、ボトルの配達に宅配業者を利用する会社と、自社で配達する会社がありますが、前者では災害時に自社でのコントロールが効かなくなります。しかしアクアクララは**自社配達となっております、柔軟に対応できます。**



# 地震発生！ そのとき水はどうなる？

---

震度7の揺れを観測する地震が2度発生。

そんな熊本地震を地元で体験し、自身も避難生活を送りながら避難所などに水を届け続けたのが、  
アクアクララの加盟店として熊本県エリアを担当する、「アクアクラらくまもと」です。

## アクアクラらくまもと（水光商事株式会社）

---



熊本営業所 矢仁田 哲也 所長

当時、震度7を記録し、被害が最も大きかったのは熊本県益城町という町です。私が暮らしているのは隣町の嘉島町で、16日の本震では家の中の家具などは転倒し、熱帯魚を飼っていた水槽も床に投げ出されて粉々になるような有様でした。前震があったのは14日の夜。その翌日の15日午前中、益城町が断水していることを知り、私はアクアクララのウォーターサーバーとボトルを車に積み込んで、益城町に向かうことにしました。

## アクアクララのお客様への連絡

前震のあった翌日4月15日の朝、アクアクララくまもとがまず行ったのは、被害が大きかった益城町に住むお客様の状況確認をするための電話連絡でした。固定電話は通じなかったため携帯電話にかけ、40件ほどのお客様のうち何とか話できたのは6件。停電や転倒によりウォーターサーバーが正常に使えなくなった家庭も多かったため、話できたお客様には、ボトルから直接水を注ぐ方法（緊急時の方法であり、通常の使用方法ではありません）を案内しました。

## 避難所への支援



アクアクララくまもと 熊本営業所のスタッフ一同地震翌日から、被災された方たちのため奔走しました

矢仁田氏は、既存のお客様への水の配達体制を確保しつつ4月15日の午前中のうちに、自分自身は益城町役場に向かわれたとの事です。

支援について事前に役場へ電話をしたものの回線が不通でつながらず、「とにかく水を届けなければ」という思いによる行動でした。積めるだけのボトルとウォーターサーバーを車に積み込んで単身益城町へ。当初、何の約束もしていなかったので断られるかもしれないという不安がありましたが、職員さんからかけられたのは「助かります」という言葉。支援物資担当の方が益城町の避難所4カ所へ水を振り分けてくれることにもなりました。さらにその1時間後には各避難所からボトルの追加要請が入ったとのことで、再びボトルを積んで避難所に向かうことにもなりました。

## 問い合わせが殺到！ 病院の治療でもアクアクララの水が使われた

4月16日には本震が起きます。これによって被害はさらに拡大。この日からアクアクララクまもとのスタッフ8名全員は避難所または車中泊生活に入ることになりました。益城町をはじめ被害が広がった地域への配達も、道路状況により断念せざるを得なくなってしまいます。

そこで矢仁田氏は、自分が避難所にしてきた上益城消防本部へウォーターサーバー2台とボトル150本を支援供給。ここに水があるというアナウンスをしてもらい、要請があった各避難所や施設へ水を振り分けてもらうという態勢を整えることにしました。これは、顔見知りもいるような地元の組織だからこそ、柔軟に連携ができたという面もあります。「アクアクララクまもと」を運営する水光商事株式会社は、生活協同組合くまもとグループの一員でもあり、地域に密着した企業です。ここまでスムーズに行動がとれたのは、全国各地の優良地場企業と契約、フランチャイズ展開しているアクアクララならではのことでした。そして病院からも要請があり、アクアクララのお水で傷口を洗うなど、治療に役立ててもらえたようです。

## 改めて気付かされた、水の大切さ



4月18日からは、いよいよお客様からボトルに対する問い合わせが殺到し始めました。通常の4倍以上という注文量に対応するため、臨時スタッフも動員し、発災後1週目の4月22日までは、ボトル配達を最優先して業務にあたりました。

多忙な2週間が過ぎていく中で、スタッフの多くが「この仕事は人の役に立つ仕事なんだ」ということに改めて気づかされたと言います。災害時、水は本当に貴重な命の源となります。そのことを実感し、みずから避難生活を送りながらも仕事に対するモチベーションを保って、全員が水を配送する作業をこなしていきました。

お客様からは、以下のような感謝の言葉も頂いています。





アクアクララをご利用いただいている熊本のご家庭では、日頃からボトルを通常使う以上の数で注文しているお客様が少なくありません。いざというときに備えているのです。

さらに加えて、災害があったときでも宅配が可能な会社を選ぶことも、重要な防災対策の一つなのではないでしょうか。

アクアクララには災害時でも水を届けられる体制、能力、そのためのバックボーンがあります。水が足りなくて困っている人や場所に、自社のスタッフが直接お水を届けています。どんなときでも、安全でおいしいお水をお届けしたい……アクアクララはそう考えています。ぜひ、アクアクララのウォーターサーバーを防災対策にお役立てください。

私たちアクアクララは、水を通じて"生活" "環境" "健康"の創造を続けていきます。

## 会社概要

社名 アクアクララ株式会社

設立 2005年2月1日

代表 代表取締役社長赤津裕次郎

所在地

東京本社／東日本支店

東京都港区港南1-6-31 品川東急ビル4階

西日本支店（大阪事務所）

大阪市北区曽根崎二丁目5番10号 梅田パシフィックビルディング8階

西日本支店（名古屋事務所）

愛知県名古屋市千種区内山3-31-20 今池NMビル7F

西日本支店（福岡事務所）

福岡県福岡市博多区東光2-6-6 第3フジクラビル502

URL<https://www.aquaclara.co.jp/>

事業内容 清涼飲料水製造・宅配事業